

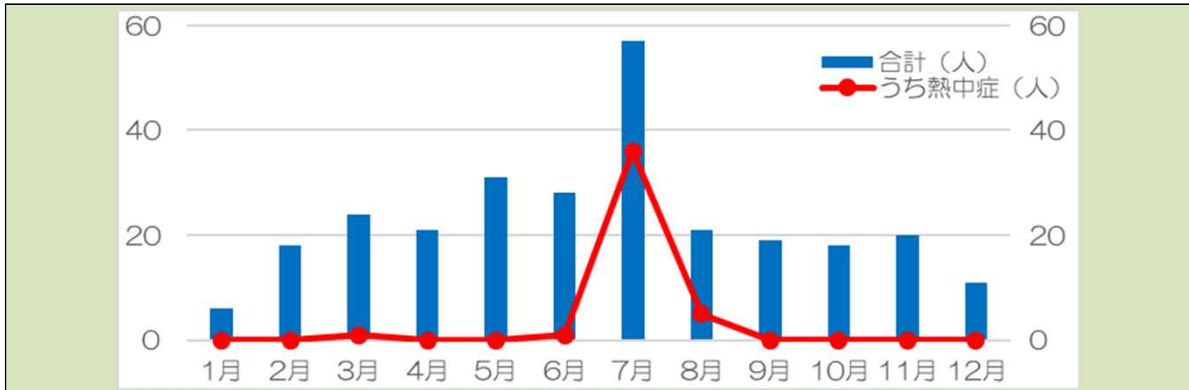
令和2年度 作物栽培管理情報第3号

令和2年6月発行

大分県中部振興局 集落営農・農地活用班

農作業安全対策その1 ※健康で無事故が一番、災害時は慎重に！

1) 熱中症に注意 ～暑い時期の長時間作業は非常に危険です！～



月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計(人)	6	18	24	21	31	28	57	21	19	18	20	11
うち熱中症(人)	0	0	1	0	0	1	36	5	0	0	0	0

月別の農作業事故に占める熱中症の件数(平成30年度 農林水産省調査)

ポイント

- ・農作業は直射日光を浴びない服装で(体を熱にさらさないことが優先です。)
- ・こまめな水分、塩分補給による脱水防止(脱水症状は熱中症の初期症状です。)
- ・休憩時間を組み込んだ農作業の実施(適度な休憩で事故も防げます。)

※気温の高くならない時間帯に作業を行うことも、対策と並び重要です。

2) 機械で作業する時等の安全確保 ～確認・対策の徹底を！～

ポイント

- ・どこで作業するか前もって知らせておくこと(事故後すぐ駆けつけられます。)
- ・作業中はスマートフォン等を常に携帯(事故直後の連絡が死亡率を下げます。)
- ・体型に合った作業服の着用(緩み、はみ出しが事故やケガ等を招きます。)
- ・タオル等は身に付けないか確実に収納(引っかければ一緒に巻き込まれます。)
- ・ヘルメット、肘当て膝当て等の確実な着用(転倒、落下の備えにもなります。)
- ・作業前後は忘れず点検(故障や交換箇所の早期発見にもつながります。)
- ・周りを確認しながら作業すること(機械の動く範囲は基本的に立入り禁止です。)
- ・不具合発生時はすぐにエンジン(モーター)停止(事故防止の第一歩です。)
- ・高所作業時は補助者同伴で(高さ1mからの落下でも死亡することがあります。)
- ・狭い道、凸凹の大きい道は回避(近道を使わずにすむ作業計画が重要です。)

※農作業事故により全国で毎年300人前後、本県でも10人前後の死者が出ています。慣れた作業であればこそ、確認・対策を徹底しましょう。

3) 大雨・強風等の気象災害への備え ～対策は事前に、発生したら待機！～

ポイント

- ・予報が出たらすぐに対策を(災害が来たときに慌てても危険かつ手遅れです。)
- ・天候が荒れている時は自宅で待機(災害が過ぎ去るまで待つことが重要です。)
- ・河川や水路、畦畔等には絶対行かないこと!(増水、急流に巻き込まれます。)
- ・大雨・強風後の排水対策及び病害虫防除の徹底(復旧の第一歩です。)

※7月以降は毎年台風の発生が増え始めます。また大雨・強風による気象災害も多くなります。

最新の気象情報に注意し、安全で効率的な農作業を心がけましょう。

お問い合わせ先：大分県中部振興局 集落営農・農地活用班 電話097-506-5791